

<先週の説教から>

『ルカ60—愛には大きさがある?』

武田真治牧師

ホセア書 6:4~6 ルカ福音書 7:39~50

イエス様がファリサイ派の人の家に招待されてお食事の席に着いておられた時に、ある一人の女性がイエス様の足もとに近寄り、泣きながらその足を涙でぬらし始め、自分の髪の毛でぬぐい、香油を塗るという出来事が起った時に、それを目撃した、そのファリサイ派の人は「この人(=イエス様)がもし預言者なら、自分に触れている女がだれで、どんな人か分かるはずだ。罪深い女なのに」と考えたのでした。この言葉の意味について先ず考えたいと思います。これは、イエス様のことを“預言者ではない”と彼は考えたということで、その理由がこの女性が「罪深い女」だと《見抜けない》からだとしているということです。ここに、当時の人たちが預言者という存在をどう捉えていたかをとても良く表わしている言葉といえます。それは“預言者とは人やこの世界の状況を見抜く力を持っている人である”という点です。

聖書にはたくさんの預言者が登場します。エリヤやイザヤやエレミヤ等、彼は予言者(=未来を予知する人)ではありません。神様から言葉を預(あず)かってに人々に語る人ですが、その預かる言葉はまさに人々が気が付いていない、思っていないことを神様から“示され”語ります。それは他の人々からすれば、まさに人や世の中を《見抜く目》を神様から与えられている(=「神の人」)と考えられていたのでした。イエス様はそのような力を与えられていない!

そうでしょうか? 上記のファリサイ派の人の言葉は実は、そう「思った=考えた」だけで言葉に出していませんでしたが、イエス様は彼がそう考えたことを《見抜いて》「シモン、あなたに言いたいことがある」と言われ、そして『借金を帳消しにしてもらった二人の人のたとえ話』をなさったのでした。このたとえ話は、このファリサイ派シモンがまさに持っていた問題点を見事に《見抜いて》語られて話でした。その上で、シモンに教えられた言葉が『この人(=女性)を

見ないか。』でした。イエス様がこのように「~を見なさい」と言われる場合は、必ずその見るべき相手から“見て学びなさい”という教えなのです(=例えば『野の花を見よ』)。イエス様はこのシモンの問題点を見抜かれた上で、彼に掛けている最も大事なことを教えようとしたのでした。その上で『赦されることの少ない者は、愛することも少ない』という言葉を彼に向けて語られたのでした。この行動は決して、ファリサイ派シモンを裁こうとか、断罪しようという思いだけで為されているではありません。彼を“導こう”とされておられるといえます。イエス様はこの女性の「愛の大きさ」を最大限に評価された一方で、シモンのことも“ここから始まる”と招いておられるのです。ここにひとり一人を《見抜かれ》導かれる「大きな愛」を見るのです!

66 - 48

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 12月3日(水) 20:00
II. 12月4日(木) 10:30

聖書研究: ヨブ記
祈祷主題: 奏樂奉仕者を覚えて
担当者: (水) SC (木) IK
祈りに覚える人: IMさん IIさん

【教勢報告】

主日礼拝 男16 女47 計63
祈祷会 I. 男4 女2 計6 II. 男1 女5 計6
日曜学校 幼稚科4 小中科10 計14
ひつじ雲カフェ<11月24日(月)> 男1 女5 計6

【次週礼拝】 *待降節第二主日 12月7日(日)

聖書: 士師記 18:5~6
ルカによる福音書 7:49~8:3
説教: 「ルカ61-あなたの信仰が

あなたを救う」 武田真治牧師
讃美歌: 242(1~2)、230(1)、32、聖歌隊176

【次週當番表】 182、194、392、78(1~2)、92(1)

司式: KH長老 奏樂: HN長老 礼拝: IK長老

配餐: SM SY HS AS 各長老

献金: YE YS 受付: NE MH

会堂準備: AA AT SM YE

看板: HS 週報: II お花: MH

【次週集会予定】

礼拝前: • 聖書輪読会 • 求道者会
礼拝後: • 12月誕生者祝福 • お茶の会
• 牧師と語る会 • 長老会 • 聖歌隊練習

2025年 11月 30日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549